



リノベ・デザイン  
Renovation Design

# Renovation Style Book



Open →





断熱性能2倍、  
耐震性能2倍、  
収納性能2倍。

新築のとき以上の性能と  
住みごこちで  
よみがえる我が家。

それが、  
「戸建リノベーション」。



# こんなお悩み、ありませんか？



## 夏暑く、冬寒い。

冷房しても、なかなか冷えない。  
暖房をかけても、底冷えする。



## 地震が不安。

いつもミシミシ。小さな地震でもグラグラ。  
大地震が来たら、どうしよう・・・



## 家が片付かなくて、狭い。

捨てられない。片付ける場所もない。  
だからどんどん狭くなるわが家。



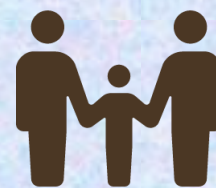
## 光熱費が家計を圧迫。

ずっと冷暖房をかけっぱなしだから、  
高止まりの光熱費。もったいない。



## 掃除の手間にうんざり。

トイレもお風呂も台所も。  
いくら掃除してもキレイにならない。



## 感じてしまう、家族の距離。

背を向けてお料理、にじむ寂しさ。  
部屋にとじこもって、感じる孤独。



# 断熱

## 断熱性能が、2倍。

築40年の家に比べ

冷房しても、なかなか冷えない。暖房をかけても、底冷えする。

これらは、住まいの断熱性能の低さが原因です。

「戸建リノベーション」では、この問題を根本的に解決。壁面はもちろん、夏の暑さを軽減する天井、冬の底冷えを和らげる床、そして結露の原因になる窓まで、外部と接する部分について、徹底的に断熱性能アップを施します。

今と比べて断熱性能を2倍以上に高め、より快適で健康的な住まいを実現します。



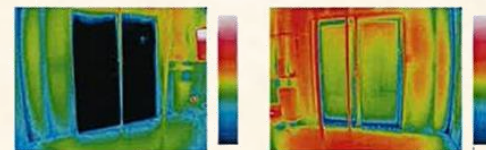
## 断熱材

建物全体を高性能の断熱材で覆い、魔法瓶のような空間を実現。一般的な断熱材よりも高密度で隙間なく敷き詰めることにより、高い断熱効果が実現します。これでもう、ヒューヒュー隙間風を気にすることはありません。



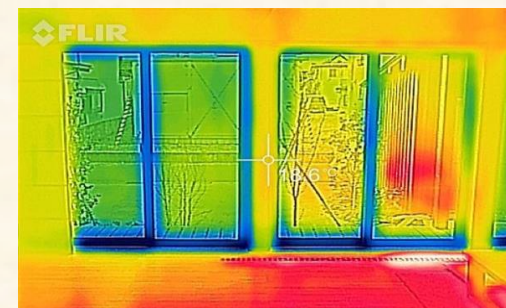
## 窓も断熱

熱を通しやすい窓は、建物の断熱性能を下げってしまう大きな要因です。「戸建リノベーション」の窓は、断熱性の高いペアガラス。太陽の光を感じる開放的な空間を実現しつつ、結露の心配からも解放されます。



## サーモグラフィが示す断熱性

一般的な住宅と、「戸建リノベーション」を施した住宅。右の写真で、室内温度の違いが一目瞭然です。壁、天井、床、そして窓。徹底的な断熱施工で、室内をいつも快適な温度に保ちます。



## 燃費診断

# 燃費診断で わが家の「光熱費」を 見える化。

クルマに燃費があるように、住まいにも「燃費」があります。

クルマを買うときに、リッター何km走るのかを気にするように、住まいもできるだけ省エネ化して、光熱費を抑えたいと思いますよね。

「戸建リノベーション」では、世界基準で省エネ評価できるソフト「建もの燃費ナビ」により、今のお住まいの燃費を見える化。

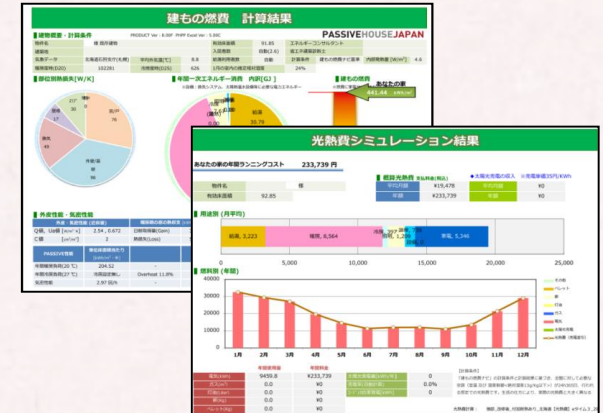
それがリノベーション後にどうなるのか、「燃費予測」も算出します。





# 「建物の燃費ナビ」

「建物の燃費ナビ」は、世界基準で省エネ評価できる高性能なシミュレーションソフト。  
今のお住まいの詳細な燃費性能を、具体的な数値とわかりやすいグラフで「見える化」します。熱がどのくらい失われ、光熱費がどのくらいかかっているのかが一目瞭然です。



## UA値を算出・C値も測定

燃費性能を測る代表的な指標、「UA値」（外皮平均熱貫流率）を算出。  
「C値」（相当隙間面積）も実測し、数値として明示することができます。  
この数値が低いほど、断熱性能が高いとされます。  
今のお住まいの値はいくつで、リノベーション後にいくつになるのか。  
知っておいて損はありません。

## 次世代省エネ基準のUA値・C値

平成25年度基準では8地域に区分されています。従来に比べて、より最新の区分になっています。

平成25年基準	UA $W/(m^2 \cdot K)$ 外皮平均熱貫流率の基準値
1地域	0.46
2地域	0.46
3地域	0.56
4地域	0.75
5地域	0.87
6地域	0.87
7地域	0.87
8地域	—

# 耐震

## 耐震性能が、2倍。

築40年の家に比べ

地震の国、日本。

大きな揺れにも動じない、安心して暮らせる住まいが求められています。

現行の耐震基準は、昭和56年6月に導入されました。ですから、それ以前に建てられた住まいは耐震性能に不安を残している可能性があります。

また、建物は日々劣化するため、耐震性能が低下していく恐れも。

「戸建リノベーション」では、施工前に耐震診断を行い、今のお住まいの耐震性能を評価。

診断結果をもとにした的確な耐震工事により、

今のお住まいと比べて「耐震性能2倍」を実現します。



## 耐震性能調査

今のお住まいに、耐震金具は備え付けられているか。木材のひび割れ・腐食はないか。  
担当スタッフが、専用の検査器具を使用しながら、床下、屋根裏、基礎周りなど、建物を隅々まで調査します。



## 上部構造評点

建物の耐震性を示す指標に、「上部構造評点」があります。  
耐震診断により、今のお住まいの評点が算出されます。

「戸建リノベーション」では、「バランスの良い壁」と「ムダのない耐震金物」を軸とした耐震工事を施すことにより、「一応倒壊しない」とされる評点1.0以上を目指します。

### 上部構造評点の見方

評点Gの範囲	判定（評点の意味）	解説（備考）
$G \geq 1.5$	◎ 倒壊しない	現行建築基準法構造規定の定める最低限の耐震強度の1.5倍以上の耐震強度を有する。
$1.0 < G < 1.5$	○ 一応倒壊しない	現行建築基準法構造規定の定める最低限の耐震強度を超え、1.5倍未満の耐震強度を有する。
$G = 1.0$	○ 一応倒壊しない	評点1.0は現行建築基準法構造規定の定める最低限の耐震強度を有するという意味です。
$0.7 \leq G < 1.0$	△ 倒壊する可能性がある	1981年6月～2000年5月着工の新耐震基準木造住宅の75%位がこの評点になる。劣化による評点の低減、配置バランス不良及び接合金物不足による耐震部材の強度低減の影響である。
$G < 0.7$	×倒壊する可能性が高い	1981年（昭和56年）5月以前着工の旧耐震基準木造住宅の95%以上がこの評点になる。

# 収納

## 収納力が、2倍。

築40年の家に比べ

いくら広々とした間取りを設計しても、住んでいるうちに狭く感じる。

それは、家財や荷物が空間を占有していくからです。片付かない理由は、なんといっても、収納力の不足。床面積の20%を収納スペースにあてるのが理想です。片付けやすい場所に、片付けやすい収納スペースを。

「戸建リノベーション」は、今と比べて収納力を2倍にし、ひろびろ気持ちよく暮らせる住まいを実現します。



## リビングにも収納

家族がいつも集う場所、リビング。  
しかし、そのリビングに収納が足りないのが一般的です。  
「戸建リノベーション」では、リビング収納の工夫により、  
開放的で居心地のいいリビングを実現します。



## ウォークイン・クローゼット

夫婦2人住まいなら、部屋はそれほど多く必要ありません。  
だから部屋数を減らして、そのまま入れるウォークイン・クローゼットに。  
たくさんの荷物や衣服が収納でき、取り出しやすい便利なスペースです。



## キッチンも片付け上手

調理器具や調味料などが散乱しやすい台所。  
キッチンが使いにくいと、毎日のお料理も気分が乗りません。  
片付けやすく取り出しやすいシステムキッチンとシステム収納で、  
楽しいクッキングを。



## 毎日の使いやすさ、お手入れのしやすさから 厳選した水まわり設備

### システムキッチン

最新のテクノロジーで使いやすさを追求したシステムキッチン。  
調理器具や小物の取り出しやすさも感動ものです。  
ご希望に応じて、食器洗い乾燥機など、さまざまなオプションを加えることもできます。



### システムバス

広々として使いやすい洗い場。足を伸ばしてくつろげる浴槽。  
最高のリラクゼーション・スペースをご提供します。  
もちろん、毎日のお手入れのしやすさも見逃せません。



### トイレ

頻繁に使う場所だから、こだわりを。  
リモコンで簡単操作の洗浄便座に、立ち上がりやすい手すりも設置。  
最新の素材と機構で掃除のしやすさも段違いです。



### 洗面化粧台

水が飛び散りにくく、洗髪もできる大型ボウル。  
大きめの鏡は、身支度を整えるときに重宝します。  
鏡の裏には、豊富な収納スペース。歯磨きや整髪料が散らかることは、もうありません。



# 会話が弾む。くつろげる。 ココロが躍る、インテリア。

## 間取りがつくる家族の会話

住まいは、ただの「箱」ではなく、そこに住まう家族を創るもの。  
近すぎず、遠すぎず。適度な距離感が保たれるからこそ、充実した家族の暮らしが生まれます。  
「戸建リノベーション」では、家族のコミュニケーションを重視した間取りをプランニングします。



## 落ち着きを求めたインテリア・デザイン

奇抜なインテリア・デザインは、来訪した客人の目を楽しませてくれます。  
しかし、そこにずっと住まう家族には、落ち着いたインテリアが最適。  
居心地がよく、飽きない。快適に永く暮らせるインテリア・デザインをご提案します。



## 家具で暮らしをコーディネート

暮らしの中で、家具は身近な存在。食事もくつろぎも、家具があってこそ実現します。  
リノベーションは、家具が入って完成するのです。  
「戸建リノベーション」では、リビングダイニングをメインに、さまざまな家具をご提案します。



## 1. モデルハウス ご案内

年 月 日 ( )

戸建リノベーションのモデルハウスを体感してください。建物の構造やプランニングのポイントを、詳しくご説明します。

## 2. ご相談

年 月 日 ( )

担当アドバイザーが、個別にご相談に応じます。お住まいの悩みや問題、ご要望をお聞かせください。

## 3. 現場調査

年 月 日 ( )

室内から外壁・屋根、基礎まわりまで、くまなく調査させていただきます。新築当初の図面をお持ちでしたらご用意ください。

## 4. 1stプレゼン 燃費・耐震診断

年 月 日 ( )

現在のお住まい、および戸建リノベーション後の燃費診断と一般耐震診断を行います。診断結果を詳細にご報告し、定額料金を提示します。

**【ここまでは無料です】**

## 5. 設計契約

年 月 日 ( )

プランの方向性と概算見積にご納得いただけましたら、設計契約に進みます。この後、耐震診断と詳細プランニングに移ります。

**【契約料 10万円（税別）】**

## 6. 2ndプレゼン

年 月 日 ( )

再度詳細なヒアリング・現場調査を行うとともに、精密耐震診断も行います。それをもとに、詳細なプランと見積、仕様等をご提示します。

## 7. ご契約

年 月 日 ( )

すべての内容にご納得いただけましたら、本契約（工事請負契約）となります。この後、着工前の打ち合わせに進みます。

## 8. 着工

年 月 日 ( )

工事中の仮住まいなど、お気軽にご相談ください。工事開始前には、当社スタッフが近隣のお宅にご挨拶をさせていただきます。

## 9. 耐震検査

年 月 日 ( )

解体工事が進んだ時点で現場検査を行い、耐震金物や耐力壁の位置などを含め、プラン修正の必要がないか、確認します。

## 10. お客様 現場確認

年 月 日 ( )

断熱工事に入る前に、耐震金物の取付状況、給排水やコンセントの位置など、お客様と一緒に確認させていただきます。

## 11. 完了検査 お引渡し

年 月 日 ( )

工事完了後、お客様立ち会いのもと、完了検査を行います。その後、書面に署名・捺印をいただき、正式にお引渡しとなります。

## 12. アフター サービス

年 月 日 ( )

いよいよ新しいお住まいでの生活のスタートです。気になる点やご要望がありましたら、いつでもご連絡・ご相談ください。



さあ、あなたも。



リノベ・デザイン

Renovation Design